

室内用

電波時計 取扱説明書

(カレンダー・温度湿度表示付掛時計)

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

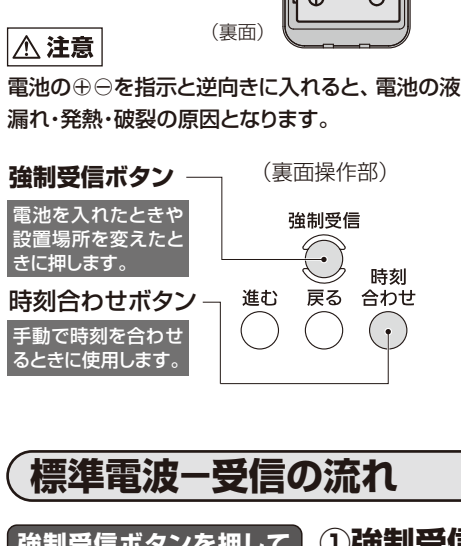
リズム株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

電池は付属してありません。単2形アルカリ乾電池を4個ご用意ください。

使用方法 電池を入れて、電波を受信して時刻を合わせる

○図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。



手で時刻を合わせる場合は、**「手動での時刻合わせ」**を参照してください。

①電池ホルダーの⊕ ⊖表示に合わせて電池を入れる

②強制受信ボタンを押す

針は、早送りで4、8、12時のいずれかに移動して、受信が終わるまで停止します。
※電池を入れた後は、必ず強制受信ボタンを押してください。

③(時計の掛けかた)に従って時計を確実に掛ける

④16分待つて結果を確認する

最長で16分程度受信を行い、受信が終わると針が早送りで時刻を示します。受信に成功しているときは、電波マークが点灯します。
(標準電波一受信の流れ)を参照。

液晶表示は、時計を掛けて少し見上げる位置がクッキリと見やすくなります。使用している液晶の特性上、他の方向から見ると、表示が薄くなったり、むらになったりすることがあります。

単2形アルカリ乾電池(推奨) 4個
電池を入れるときは、電池ぶたを旋脱してください。
時計裏面の左右2か所に電波受信機が取り付けられています。必ずそこに電池を入れてください。



△注意
電池の⊕ ⊖を指示と逆向きに入れると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。

強制受信ボタン
電池を入れたときや設置場所を変えたときに押します。

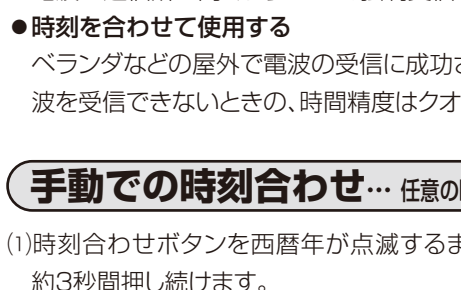
時刻合わせボタン
手で時刻を合わせるときに使用します。

○受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。「2016」に合わせ、場所を変えて強制受信ボタンを押してください。

○受信に失敗している場合は、表示されている時刻は正しくありません。

標準電波一受信の流れ

強制受信ボタンを押して受信しているときは、温度・湿度を表示しません。



①強制受信ボタンを押す

針は、4、8、12時のいずれかに早送りで移動して、受信が終わるまで停止します。
※受信が終わるまで、操作ボタンに触れないでください。

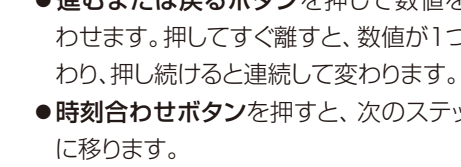
電波マークの変化について(電波サーチ機能)
はじめは短い間隔で点滅します。受信する局が、九州局または福島局のいずれかに決まると、1秒点滅に切り替わります。

電波マークは、受信中、電波の状態に応じて1秒点滅で変化します。

受信できません 受信しやすい

①または②の状態が続く場合は、設置場所を変えてください。

電波マーク



②受信結果の確認

成功
電波マーク点灯
受信に成功すると電波マークが点滅から点灯表示に切り替わり、針が時刻を表示します。電波マークは受信成功後、およそ25時間点灯します。

失敗
電波マーク消灯
受信に失敗すると電波マークは消灯します。表示されている時刻は正しくありません。

標準電波を受信できない場合

●朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える 受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで、取扱説明書の日本地図を参考に、時計の正面または裏面が電波の送信局に向くようにして、強制受信ボタンを押して受信を試みてください。

●時刻を合わせて使用する
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波を受信できないときの、時間精度はクォーツ精度になります。

手動での時刻合わせ... 任意の時刻に合わせるときや電波受信機能のON/OFFを設定するとき

(1)時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約3秒間押し続けます。

(2)西暦年、月日、時刻、電波受信ON/OFFの順に設定します。

●進むまたは戻るボタンを押して数値を合わせます。押してすぐ離すと、数値が1つ変わり、押し続けると連続して変わります。

●時刻合わせボタンを押すと、次のステップに移ります。

※操作を約1分間中断すると、表示されている内容に設定して、日付の表示に戻ります。

※電波受信機能をONにした場合、定期的に受信を行い、受信に成功すると時刻を修正します。

※標準電波を受信しない場合の時間精度は、平均月差±20秒のクォーツ精度になります。

操作例 2016年12月25日 午前10:37に合わせる

①設定状態にする

時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで、約3秒間押し続ける。

②西暦年

進むまたは戻るボタンで「2016」に合わせ、時刻合わせボタンを押す。

③月日

進むまたは戻るボタンで「12月25日」に合わせ、時刻合わせボタンを押す。

④時刻

進むまたは戻るボタンで「10:37」に合わせ、時刻合わせボタンを押す。

※進むまたは戻るボタンを押すたびにゼロになります。 ※進むまたは戻るボタンを押すと一時停止します。

⑤電波受信ON/OFF選択

進むまたは戻るボタンで、電波受信のON/OFFを選択して、時刻合わせボタンを押すと、カレンダー表示に切り替わり、針が早送り、設定した時刻に移動してから、時刻を刻みはじめます。

標準電波を受信できない場合

●朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える 受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで、取扱説明書の日本地図を参考に、時計の正面または裏面が電波の送信局に向くようにして、強制受信ボタンを押して受信を試みてください。

●時刻を合わせて使用する
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波を受信できないときの、時間精度はクォーツ精度になります。

手動での時刻合わせ... 任意の時刻に合わせるときや電波受信機能のON/OFFを設定するとき

(1)時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約3秒間押し続けます。

(2)西暦年、月日、時刻、電波受信ON/OFFの順に設定します。

●進むまたは戻るボタンを押して数値を合わせます。押してすぐ離すと、数値が1つ変わり、押し続けると連続して変わります。

●時刻合わせボタンを押すと、次のステップに移ります。

※操作を約1分間中断すると、表示されている内容に設定して、日付の表示に戻ります。

※電波受信機能をONにした場合、定期的に受信を行い、受信に成功すると時刻を修正します。

※標準電波を受信しない場合の時間精度は、平均月差±20秒のクォーツ精度になります。

操作例 2016年12月25日 午前10:37に合わせる

①設定状態にする

時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで、約3秒間押し続ける。

②西暦年

進むまたは戻るボタンで「2016」に合わせ、時刻合わせボタンを押す。

③月日

進むまたは戻るボタンで「12月25日」に合わせ、時刻合わせボタンを押す。

④時刻

進むまたは戻るボタンで「10:37」に合わせ、時刻合わせボタンを押す。

※進むまたは戻るボタンを押すたびにゼロになります。 ※進むまたは戻るボタンを押すと一時停止します。

⑤電波受信ON/OFF選択

進むまたは戻るボタンで、電波受信のON/OFFを選択して、時刻合わせボタンを押すと、カレンダー表示に切り替わり、針が早送り、設定した時刻に移動してから、時刻を刻みはじめます。

標準電波を受信できない場合

●朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える 受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで、取扱説明書の日本地図を参考に、時計の正面または裏面が電波の送信局に向くようにして、強制受信ボタンを押して受信を試みてください。

●時刻を合わせて使用する
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波を受信できないときの、時間精度はクォーツ精度になります。

手動での時刻合わせ... 任意の時刻に合わせるときや電波受信機能のON/OFFを設定するとき

(1)時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約3秒間押し続けます。

(2)西暦年、月日、時刻、電波受信ON/OFFの順に設定します。

●進むまたは戻るボタンを押して数値を合わせます。押してすぐ離すと、数値が1つ変わり、押し続けると連続して変わります。

●時刻合わせボタンを押すと、次のステップに移ります。

※操作を約1分間中断すると、表示されている内容に設定して、日付の表示に戻ります。

※電波受信機能をONにした場合、定期的に受信を行い、受信に成功すると時刻を修正します。

※標準電波を受信しない場合の時間精度は、平均月差±20秒のクォーツ精度になります。

操作例 2016年12月25日 午前10:37に合わせる

①設定状態にする

時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで、約3秒間押し続ける。

②西暦年

進むまたは戻るボタンで「2016」に合わせ、時刻合わせボタンを押す。

③月日

進むまたは戻るボタンで「12月25日」に合わせ、時刻合わせボタンを押す。

④時刻

進むまたは戻るボタンで「10:37」に合わせ、時刻合わせボタンを押す。

※進むまたは戻るボタンを押すたびにゼロになります。 ※進むまたは戻るボタンを押すと一時停止します。

⑤電波受信ON/OFF選択

進むまたは戻るボタンで、電波受信のON/OFFを選択して、時刻合わせボタンを押すと、カレンダー表示に切り替わり、針が早送り、設定した時刻に移動してから、時刻を刻みはじめます。

標準電波を受信できない場合

●朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える 受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで、取扱説明書の日本地図を参考に、時計の正面または裏面が電波の送信局に向くようにして、強制受信ボタンを押して受信を試みてください。

●時刻を合わせて使用する
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波を受信できないときの、時間精度はクォーツ精度になります。

手動での時刻合わせ... 任意の時刻に合わせるときや電波受信機能のON/OFFを設定するとき

(1)時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約3秒間押し続けます。

(2)西暦年、月日、時刻、電波受信ON/OFFの順に設定します。

●進むまたは戻るボタンを押して数値を合わせます。押してすぐ離すと、数値が1つ変わり、押し続けると連続して変わります。

●時刻合わせボタンを押すと、次のステップに移ります。

※操作を約1分間中断すると、表示されている内容に設定して、日付の表示に戻ります。

※電波受信機能をONにした場合、定期的に受信を行い、受信に成功すると時刻を修正します。

※標準電波を受信しない場合の時間精度は、平均月差±20秒のクォーツ精度になります。

操作例 2016年12月25日 午前10:37に合わせる

①設定状態にする

時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで、約3秒間押し続ける。

②西暦年

進むまたは戻るボタンで「2016」に合わせ、時刻合わせボタンを押す。

③月日

進むまたは戻るボタンで「12月25日」に合わせ、時刻合わせボタンを押す。

④時刻

進むまたは戻るボタンで「10:37」に合わせ、時刻合わせボタンを押す。

※進むまたは戻るボタンを押すたびにゼロになります。 ※進むまたは戻るボタンを押すと一時停止します。

⑤電波受信ON/OFF選択

進むまたは戻るボタンで、電波受信のON/OFFを選択して、時刻合わせボタンを押すと、カレンダー表示に切り替わり、針が早送り、設定した時刻に移動してから、時刻を刻みはじめます。

標準電波を受信できない場合

●朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える 受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで、取扱説明書の日本地図を参考に、時計の正面または裏面が電波の送信局に向くようにして、強制受信ボタンを押して受信を試みてください。

●時刻を合わせて使用する
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波を受信できないときの、時間精度はクォーツ精度になります。

手動での時刻合わせ... 任意の時刻に合わせるときや電波受信機能のON/OFFを設定するとき

(1)時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約3秒間押し続けます。

(2)西暦年、月日、時刻、電波受信ON/OFFの順に設定します。

●進むまたは戻るボタンを押して数値を合わせます。押してすぐ離すと、数値が1つ変わり、押し続けると連続して変わります。

●時刻合わせボタンを押すと、次のステップに移ります。

※操作を約1分間中断すると、表示されている内容に設定して、日付の表示に戻ります。

※電波受信機能をONにした場合、定期的に受信を行い、受信に成功すると時刻を修正します。

※標準電波を受信しない場合の時間精度は、平均月差±20秒のクォーツ精度になります。

操作例 2016年12月25日 午前10:37に合わせる

①設定状態にする

時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで、約3秒間押し続ける。

②西暦年

進むまたは戻るボタンで「2016」に合わせ、時刻合わせボタンを押す。

③月日

進むまたは戻るボタンで「12月25日」に合わせ、時刻合わせボタンを押す。

④時刻

進むまたは戻るボタンで「10:37」に合わせ、時刻合わせボタンを押す。

※進むまたは戻るボタンを押すたびにゼロになります。 ※進むまたは戻るボタンを押すと一時停止します。

⑤電波受信ON/OFF選択

進むまたは戻るボタンで、電波受信のON/OFFを選択して、時刻合わせボタンを押すと、カレンダー表示に切り替わり、針が早送り、設定した時刻に移動してから、時刻を刻みはじめます。

標準電波を受信できない場合

●朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える 受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで、取扱説明書の日本地図を参考に、時計の正面または裏面が電波の送信局に向くようにして、強制受信ボタンを押して受信を試みてください。

●時刻を合わせて使用する
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波を受信できないときの、時間精度はクォーツ精度になります。

手動での時刻合わせ... 任意の時刻に合わせるときや電波受信機能のON/OFFを設定するとき

(1)時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約3秒間押し続けます。

(2)西暦年、月日、時刻、電波受信ON/OFFの順に設定します。

●進むまたは戻るボタンを押して数値を合わせます。押してすぐ離すと、数値が1つ変わり、押し続けると連続して変わります。

●時刻合わせボタンを押すと、次のステップに移ります。

※操作を約1分間中断すると、表示されている内容に設定して、日付の表示に戻ります。

※電波受信機能をONにした場合、定期的に受信を行い、受信に成功すると時刻を修正します。

※標準電波を受信しない場合の時間精度は、平均月差±20秒のクォーツ精度になります。

操作例 2016年12月25日 午前10:37に合わせる

①設定状態にする

時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで、約3秒間押し続ける。

②西暦年

進むまたは戻るボタンで「2016」に合わせ、時刻合わせボタンを押す。

③月日

進むまたは戻るボタンで「12月25日」に合わせ、時刻合わせボタンを押す。

④時刻

進むまたは戻るボタンで「10:37」に合わせ、時刻合わせボタンを押す。

※進むまたは戻るボタンを押すたびにゼロになります。 ※進むまたは戻るボタンを押すと一時停止します。

⑤電波受信ON/OFF選択

進むまたは戻るボタンで、電波受信のON/OFFを選択して、時刻合わせボタンを押すと、カレンダー表示に切り替わり、針が早送り、設定した時刻に移動してから、時刻を刻みはじめます。

標準電波を受信できない場合

●朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える 受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで、取扱説明書の日本地図を参考に、時計の正面または裏面が電波の送信局に向くようにして、強制受信ボタンを押して受信を試みてください。

●時刻を合わせて使用する
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波を受信できないときの、時間精度はクォーツ精度になります。

手動での時刻合わせ... 任意の時刻に合わせるときや電波受信機能のON/OFFを設定するとき

(1)時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約3秒間押し続けます。

(2)西暦年、月日、時刻、電波受信ON/OFFの順に設定します。

●進むまたは戻るボタンを押して数値を合わせます。押してすぐ離すと、数値が1つ変わり、押し続けると連続して変わります。

●時刻合わせボタンを押すと、次のステップに移ります。

※操作を約1分間中断すると、表示されている内容に設定して、日付の表示に戻ります。

操作例 2016年12月25日 午前10:37に合わせる

①設定状態にする

時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで、約3秒間押し続ける。

②西暦年

進むまたは戻るボタンで「2016」に合わせ、時刻合わせボタンを押す。

標準電波を受信できない場合

●朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える 受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで、取扱説明書の日本地図を参考に、時計の正面または裏面が電波の送信局に向くようにして、強制受信ボタンを押して受信を試みてください。

●時刻を合わせて使用する
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波を受信できないときの、時間精度はクォーツ精度になります。

手動での時刻合わせ... 任意の時刻に合わせるときや電波受信機能のON/OFFを設定するとき

(1)時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約3秒間押し続けます。

(2)西暦年、月日、時刻、電波受信ON/OFFの順に設定します。

●進むまたは戻るボタンを押して数値を合わせます。押してすぐ離すと、数値が1つ変わり、押し続けると連続して変わります。

●時刻合わせボタンを押すと、次のステップに移ります。

※操作を約1分間中断すると、表示されている内容に設定して、日付の表示に戻ります。

※電波受信機能をONにした場合、定期的に受信を行い、受信に成功すると時刻を修正します。

※標準電波を受信しない場合の時間精度は、平均月差±20秒のクォーツ精度になります。

操作例 2016年12月25日 午前10:37に合わせる

①設定状態にする

時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで、約3秒間押し続ける。

②西暦年

進むまたは戻るボタンで「2016」に合わせ、時刻合わせボタンを押す。

③月日

進むまたは戻るボタンで「12月25日」に合わせ、時刻合わせボタンを押す。

④時刻

進むまたは戻るボタンで